

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 1 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります

○新規就農者の確保

【取組】

- ・ J A等が実施する新規就農者の受入や育成等を支援
- ・ 13普及拠点及び（公財）えひめ農林漁業振興機構に就農相談窓口を設置
- ・ 都市圏の若手女性に対し「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」メンバー等がツアーや相談会で就農を積極的に誘導

【成果】

- ・ 令和4年度新規就農者（40歳未満：自営＋雇用）108人
※新規就農者数は当該年度の翌年度9月頃判明予定
- ・ 県内11 J A、3農業公社、1法人において104名の研修生受入体制を整備
- ・ 研修生累計221名、うち156名が就農（H29～R4）
- ・ 新規就農者に対し、J Aリースによる機械・施設の整備を支援（6 J Aでハウスなど延べ31件整備）
- ・ 就農相談窓口における相談件数
普及拠点：延べ347件
（公財）えひめ農林漁業振興機構：延べ191件
- ・ さくらひめメンバーによる
農業体験ツアー：2回（参加者延べ7名）
相談会：4回（相談数延べ17件）

【関係事業】

- ・ 担い手総合支援事業費：86,234千円
- ・ 青年農業者等確保育成事業費：12,502千円
- ・ 一次産業女子就業促進事業費：5,426千円
- ・ 新規就農者緊急支援事業費：23,182千円
- ・ 南予儲かる農業人材育成事業費：2,757千円



県外での就農相談会開催



農業体験ツアーで参加者との意見交換



農林水産人の冊子

○えひめ農業のイメージアップ

【取組】

- ・ 魅力的な農林水産業の経営やPR等に取り組む人を「えひめ愛顔の農林水産人」として登録・紹介
- ・ 就農支援Webサイトを運営
- ・ 「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」によるSNSを活用した農業の魅力発信を支援

【成果】

- ・ 「えひめ愛顔の農林水産人」の追加・更新：第9弾として18組、22名を追加登録
令和5年3月時点の登録数：計226組、260名
- ・ Webサイトで「えひめ愛顔の農林水産人」や「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」を紹介
- ・ さくらひめFacebookのフォロワー：554名
InstagramとTwitterによる情報発信

【関係事業】

- ・ 青年農業者等確保育成事業費：12,502千円
- ・ 一次産業女子就業促進事業費：5,426千円



女性農業者の魅力
をSNSで発信

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 1 農業内外からの新規就農と定着促進を図ります

○研修制度の充実

【取組】

- ・JAや農業大学校、農業指導士等の就農研修機関に加え、地域の優れた農業者就農研修体制を研修機関として県が認定
- ・13普及拠点で農業基礎研修や専門技術研修、経営向上講座等の研修を実施
- ・農業大学校において、将来就農を希望する人を対象にアグリビジネス講座を実施

【成果】

- ・令和4年度県認定研修施設：2件（累計認定件数：8件）
- ・普及拠点での研修数：130回 参加者延べ1,165名
- ・アグリビジネス講座受講生
熟年農業者養成講座：10名
えひめ農業入門塾：40名
農業担い手支援塾：16名

【関係事業】

- ・青年農業者等確保育成事業費：12,502千円
- ・農業大学校教育運営推進費：36,413千円



農業入門塾での
落葉果樹摘果作業



就農を考えている受講生
に土壌分析方法説明

○就農受入体制の充実

1 JAや市町等と連携し受入体制を強化

【取組】

- ・JA等が実施する新規就農者の受入や育成等を支援

【成果】

- ・県内11JA、3農業公社、1法人において104名の研修生受入体制を整備
- ・研修生累計221名、うち156名が就農（H29～R4）
- ・新規就農者に対し、JAリースによる機械・施設の整備を支援（6JAでハウスなど延べ31件を整備）

【関係事業】

- ・担い手総合支援事業費：86,234千円

2 新規就農者育成総合対策を活用し就農支援

【取組】

- ・国の新規就農者育成総合対策（研修を後押しする経営開始資金）（就農直後の経営確立を支援する経営開始資金）を活用し就農を支援

【成果】

- ・令和4年度準備型対象者：64名 経営開始型対象者：316名
- ・令和3年度新規就農者(199名)のうち農業次世代人材投資事業当の利用者：53名

【関係事業】

- ・新規就農総合支援事業費：542,288千円

3 物価高騰に対する新規就農者への支援

【取組】

- ・資材などの価格高騰相当分の一部に対して緊急的に支援

【成果】

- ・経営力の向上や面積拡大に取り組む認定新規就農者：306名

【関係事業】

- ・新規就農者緊急支援事業費：23,182千円



研修施設の体制整備



就農に向けた実践的な
研修を支援

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 2 地域をリードする女性農業者を確保・育成します

○女性参画の推進

【取組】

- ・方針決定過程への女性参画の推進に向けた推進会議等の開催

【成果】

- ・推進会議1回、地区連絡会議各1回(5地区)開催
- ・女性リーダー研修会等の開催

【関係事業】・農山漁村男女共同参画強化事業費：1,151千円



女性リーダー研修会

○農業女子プロジェクトの推進

【取組】

- ・「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」の活動強化
- ・都市圏の若手女性に対し「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」メンバー等がツアーや相談会で就農を積極的に誘導

【成果】

- ・令和4年度メンバー数：134名(前年度から7名増加)
- ・異業種とコラボした活動へ参加
- ・(株)松山三越の中元・歳暮でブルーベリーアイスなどを販売：中元6件、歳暮6件
- ・各地域のグループ活動：商品開発・販売促進・労働環境改善等：7組織
- ・県内さくらひめ交流会の開催：1回(参加者29名)
- ・事例発表、農業機械研修を開催
- ・さくらひめメンバーによる農業体験ツアー：2回(参加者7名)
- ・相談会：4回(相談数延べ17件)

【関係事業】・一次産業女子就業促進事業費：5,426千円



さくらひめメンバーが参加した交流会



農業体験ツアーで農作業体験を受入

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 3 次世代の担い手への円滑な経営継承を支援します

○経営継承支援

1 えひめ農業経営サポートセンターによる支援

- ・多様な経営課題に関する相談に対応するため、えひめ農業経営サポートセンター(公益財団法人えひめ農林漁業振興機構)が行う専門家派遣を支援し、農業者等への指導・助言等を推進

【成果】

- ・専門家派遣による助言・指導 対象者：85経営体(派遣件数：88件)
- ・農業経営セミナーの開催：3回

【関係事業】・農業経営総合支援事業費：16,035千円

2 集落営農組織等の支援

【取組】

- ・将来の経営を担う新規就農者等の確保・育成、または組織間連携活動を行う集落営農組織・法人を支援

【成果】

- ・新規就農者の知識・技術習得のため、柑橘苗木の植栽、新梢管理、樹形管理、かん水・施肥管理、土壌管理に係る研修を実施

【関係事業】・担い手総合支援事業費：86,234千円

3 集落営農推進による担い手への農地集積

【取組】

- ・かんきつ地帯の集落営農支援

【成果】

- ※西宇和地域柑橘集落営農組織支援事業活用(局予算)
- ・西宇和地域柑橘集落営農組織支援協議会の開催(5、3月)
- ・モデル園での研修：2回(5、2月)
- ・先進地視察：基盤整備取組事例(松山市興居島9/29)
- ・マルドリ利用及び園地整備(山口県周防大島町10/11)
- ・経営研修会の実施：2回(延べ20名参加)
- ・法人化セミナー：農事組合法人の取組状況紹介(9/21)
- ・新規就農者の確保：首都圏の就農相談会へ出展(1、2月)

【関係事業】・西宇和地域柑橘集落営農組織支援事業費：869千円



農業経営セミナー



ワークショップによる経営計画の検討



ナカウラマルドリモデル園研修会

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 4 えひめ農業を支える人材を育成する農業教育の充実を図ります

○県立農業大学校の高度化

【取組】

- ・総合農学科、アグリビジネス科、研修部門を運営
- ・新規就農者を養成する新アグリビジネス科を創設
- ・研修教育の充実のため、農業機械を導入

【成果】

- ・R4入学生
総合農学科：34名（定員55名）
アグリビジネス科：7名（定員5名）
- ・R4卒業生
総合農学科：35名（就農率49%）
アグリビジネス科：9名（就農率67%）
- ・新アグリビジネス科受入拠点法人数：32件
- ・色彩選別機、石抜精米機を導入して実習で活用

【関係事業】

- ・農業大学校運営費：14,054千円
- ・農業大学校教育運営推進費：36,413千円
- ・農業大学校教育施設整備事業費：2,594千円



就農を目指し農業機械技術習得に励む農大生



畜産分校で酪農の最新管理技術を学ぶ農大生

○県立農業高校等との連携

【取組】

- ・高校生に対し農業大学校の魅力を発信

【成果】

- ・進路ガイダンスの実施：12校延べ15回、対象高校生178名
- ・校内見学等オープンスクールの開催：参加高校生69名

【関係事業】

- ・農業大学校教育運営推進費：36,413千円



高校生がひまわりの出荷調整を体験

基本施策 (1) えひめ農業を支える担い手を確保・育成します

施策の展開方向 ① 多様な担い手の確保・定着を促進します

具体的な推進事項 5 えひめ農林水産業をわかりやすくデータベース化し、就業・移住につながる情報を発信します

○農林水産まるかじり就業支援サイトの運用

【取組】

- ・就業に関するワンストップWebサイト「愛媛で就業！農林水産まるかじり就業支援サイト」を運用

【成果】

- ・県内の就農関係情報をWebサイトで発信：検索数49,921件
- ・Webサイトを通じての就農相談の件数：12件
- ・農業者向けメールマガジンの開設

【関係事業】

- ・青年農業者等確保育成事業費：12,502千円



愛媛で就業！
農林水産まるかじり
就業支援サイト